



JUNBA 理事会(第 180 回)議事要旨

日時: 令和 5 年 12 月 21 日(木)16:05~17:12

場所: 日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター(オンライン)

出席者: 19 名

【理事】 桜美林大学(丸山会長)、大阪大学(North 副会長)、名古屋大学(神山理事)

【事務局】 日本学術振興会(中別府事務局長(兼常務理事)、池田副センター長、田邊、Abby Hughes、重田)

【会員/オブザーバー】大阪大学(東澤)、九州大学(赤塚)、神戸大学(橋本、藤井)、東京大学(増山、青木、松崎)、名古屋大学(岡田)、龍谷大学(篠田)、立命館大学(三宅)、在サンフランシスコ日本国総領事館(近江)

1. 会長挨拶(丸山マリ会長)

新たに丸山会長が広島女学院大学とも関わり、学生留学のサポートを始めていることについて情報共有された。

2. 活動報告:

(1) 龍谷大学 篠田真智子 氏

(2) 東京大学ニューヨークオフィス Inc. 増山正晴 氏

まず、龍谷大学の拠点代表者から大学の国際化ビジョンの紹介、国際化における課題(円安等の影響による派遣留学生数の減少、事務職員のグローバル化強化)、拠点設置状況、活動内容について発表された。詳細については以下のとおり。

海外拠点の概要、活動内容:

業務委託により日本人スタッフを常駐しており、龍谷大学の職員は日本から時々渡航している状況。

全学部対象にした留学プログラム(RI Program)を 1 年を通して実施しており、単位認定が可能となっている。円安や物価上昇により、留学に係る学生負担額が年々増額しているため、留学促進のためにどのようにサポートができるか検討している。

続いて、東京大学の拠点代表者から拠点の設置経緯、設置状況、活動内容について発表された。

海外拠点の概要、活動内容:

Scientific カンファレンス等イベントの開催拠点や米国の大学との共同研究を推進し、さらには大学・学生教育の国際化のためにも拠点が重要という要望をきっかけに、ニューヨークに拠点が設置された。当初は生産技術研究所と医科学研究所の共同運営拠点として設置された。

2019年に所管組織が変わり、産業界との連携も視野に入れたスタートアップ等も活動の目的となり、2021年にオフィスも改装したうえで、全学的海外拠点として再開設された。なお、留学支援等はNYオフィスでの活動内容に入っておらず、あくまでも研究者のネットワーキング支援をしたり Non-Profit Organization であることのメリットを生かして寄附を募ったりといった活動をしている。

最近ではコロナの影響もあり、ハイブリッドのイベントをサポートしている。オフィススペースを持っていることを強みとしており、今後は是非 JUNBA 会員校にも使ってもらいたい。

各拠点の発表後、質疑応答を実施し、活動内容(留学制度や寄附金の運営の仕方)に関して詳追加の説明があった。

今回は、東北大学と横浜市立大学が発表予定である旨、事務局から説明があった。

3. 理事会 議題・報告

JUNBA 事務局からのお知らせ

(1) 前回理事会の議事要旨について

事務局から、事前に共有された資料について追加・修正等の意見がなかったことについて説明があり、原案どおり承認した。

(2) 各拠点の令和5年度の活動計画について

資料に基づき、活動計画について確認した。

事務局から、上記に加えて、名称変更に伴いウェブサイトが更新されたことについて報告があった。

4. 月例会-(丸山マリ会長)

20周年イベントについて、早めに考えたい旨丸山会長から説明があり、これについて以下のとおり簡単な意見交換を交わした。

神山理事:NAFSAでセッションを持つことをまずは検討すればよいと思う。コストが高いという話もあったが、できる範囲で実施すればよいと考えている。一方で、Berkeleyの会場で、何かトピックを決定して、話し合いを実施するというのも同時に考えていってもよいと考えている。

丸山会長:NAFSAの他に大学の代表者等が出席するイベントがあれば、そういったイベントでの実施を考えても良いのではないかと考えている。

更に、1月のJUNBA理事会のトピックについて、会長から桜美林大学の例を基に交換留学についての課題が提案された。これについてノース副会長からも国立大学として交換留学に関しては非常に関心の高い問題であることについて同意があった。

一方、神山理事からは、JUNBAの会員校の活動内容を見ていると様々なトピックがあることから、今後多様なトピックで話し合うことができる可能性について意見提示があり、1月以降2026年に向けてどのようなことを話し合っていくべきか決めていきたいとの意見が出された。さらに、神山理事から日本にインターンシップに行きたいという需要がアメリカで高いことについて、話題提供があり、日本

側の規制などにより、上手くいっていないこと、しかしシンガポールの学生がインターンシップを実施していることからアメリカからもインターンシップに対する関心が高まっていることが情報共有された。

最後に会長から、トピックに関して意見を理事宛に気軽に提供してもらいたいとの案内があった。

次回理事会の日程: 令和6年1月25日(木)16時00分～(PST)
1月25日(木)19時00分～(EST)
1月26日(金)9時00分～(JST)